

## 2014年(平成26年)度第2回理事会議事録

日時：2014年(平成26年)3月26日(水) 15:00～17:30

場所：自治医科大学、医学部教育・研究棟1F、会議室1

出席者：河田光博(理事長)、寺田純雄、仲嶋一範、藤本豊士、渡辺雅彦(以上、常務理事)、佐藤洋一、松村譲児、高野吉郎、高田邦昭、大野伸一、木山博資、青山裕彦、大塚愛二、小路武彦、中村桂一郎(以上理事)、仙波恵美子(監事)、松崎利行、阪上洋行(以上、常任幹事)、天野恵子、中村 聡(以上、口腔保健協会)

欠席者：寺島俊雄、島田昌一(以上、理事)、牛木辰男(監事)

### I. 理事長および第119回総会・全国集會会頭 挨拶

第119回屋代会頭が歓迎の挨拶と本学術集會の特色を説明した後、河田理事長より、理事への日頃の解剖学会運営への協力に対する感謝とともに解剖学会を取り巻く現状と教育・基礎科学研究への取り組みに関して報告があった。

### II. 議事録署名人の選任

定款第39条の規定に基づき、仙波監事を議事録署名人として選出した。

### III. 會議記録の確認

(1) 2013年(平成25年)度第7回理事会(平成25年12月7日開催)議事録(案)

(2) 2014年(平成26年)度第1回理事会(平成26年3月3～6日開催)議事録(案)

### IV. 報告事項

#### 1. 庶務報告(渡辺庶務担当理事)

(1) 年会費納入状況について(長期未納者の除名について)

資料に基づき2年以上の会費納入未納者リストが報告された。会費納入未納者に対して、口腔保健協会事務局のメールによる督促とともに未納者が所属する支部の支部長を通して会費納入の督促を再度行い、4年以上の未納者を除名処分する予定であることが報告された。

(2) 持ち回り理事会結果について

資料に基づき、平成26年度第1回理事会(メール會議)による審議の結果、提案された4議題(議題1「申請による代議員」の審議;議題2 平成25年度日本解剖学会解剖組織技能士功労賞の審査;議題3 生理・解剖合同大会プログラム委員長の第91回日本生理学会大会への参加について;議題4 奨励賞規約の一部改正について)についていずれも承認されたことが報告された。木山理事から、メール會議では申請代議員の審査などの人事案件を十分に審議できない等の意見が出され、本年度より申請締め切り時期を変更し第3回理事会で審議できるように対応することとした。

(3) 学会ロゴマーク募集について

資料に基づき日本解剖学会ロゴマークの募集について説明され、解剖学雑誌89巻(1,2号)及び学会ホームページにより会員への周知を図っていることが報告された。

(4) 日本学術會議マスタープラン2014について

資料に基づき、解剖学会が日本学術會議の第22期大規模研究計画に関するマスタープラン「学術大型研究計画」の公募に対して昨年3月に申請提案した研究課題「分子・かたち・疾患に統合する形態解析ネットワークの形成とデータベース構築」が、新規計画(区分I)選定課題(選定課題192件/申請課題総数209件)として採択されたこと、解剖学会が参画する脳科学連合の申請課題が重点大型研究課題として採択されたことが報告された。

(5) 肉眼解剖学教育に関するアンケート調査報告書

資料に基づき、教育・若手育成委員会が取りまとめた「肉眼解剖学教育に関するアンケート調査報告書」の内容が報告された。学会員の共有し活用すべき貴重な情報であることから、今後、個人情報の取り扱いや詳細な補足情報の公開方法などの検討した上で、解剖学雑誌やホームページなどで学会員に公開する方向であることが報告された。

(6) その他

特になし

#### 2. 編集報告

(1) その他

特になし

### 3. 企画・渉外報告（仲嶋企画・渉外担当理事）

- (1) 第119回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について  
資料に基づき準備状況が報告された。
- (2) 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について  
資料に基づき、平成26年3月に開催された日本生理学会において、原田彰宏氏（大阪大学）と前田正信氏（和歌山県立医科大学）を委員長とする合同プログラム委員会による来年度合同大会プログラムの検討が開始したことが報告された。
- (3) 二級技能士審査結果について  
資料に基づき、解剖組織技能士資格審査委員会による二級技能士審査判定結果（合格者1名）が報告された。
- (4) 日本医学会報告  
資料に基づき、日本医師会の内部組織としての日本医学会はそのまま残り、別途日本医学会の全分科会が参加する新法人として4月より発足する日本医学会連合の事業内容と定款内容について説明された。また、従来日本医学会が行ってきた活動は、今後は日本医学会連合で行う予定であること、日本医学会連合発足に伴う各分科会の負担金については、平成26年2月19日開催の定例評議会において「5万円＋（50円×会員数）」とすることが決議されたことが報告された。日本医学会連合発足に伴う各分科会負担金の算出根拠に関連して、平成25年度日本医師会予算（医学会の部）の支出内容に関する情報提供を日本医学会に問い合わせたところ、日本医学会連合の平成26年度予算に関する情報とともに、日本医学会の予算は日本医師会が負担するものであり医学会連合は関与しないとの回答が得られたことが報告された。なお、上記の定例評議会において、日本医学会連合は日本医師会からの資金援助に依存せずに活動できるよう資金的にも完全に独立するべきという意見が一部の評議員から出されたこと、それに対して、平成27年度以降の各分科会負担金に関しては未定であるとの回答が執行部からなされたことが報告された。
- (5) 生物科学学会連合報告  
資料に基づき、第9回定例会議内容が報告された。主な内容として、平成25年度決算報告と平成26年予算案、小中高等学校における動物実験の適正な実施に向けた指針の作成と国際基準への対応の必要性、国際生物学オリンピックの2020年の日本開催についての取り組みについて報告された。また、第1回教科書問題検討委員会、ポスドク問題検討委員会、日本学術会議主催学術フォーラム「世界のオープンアクセス政策と日本：研究と学術コミュニケーションへの影響」での会議内容が説明された。また、日本学術会議による「科学者の行動規範」に関する声明（平成25年1月25日）を、解剖学会ホームページにリンクすることにより学会員への周知を図り、学会としての本行動規範の遵守の姿勢を示すことが報告された。
- (6) 教科書問題ワーキンググループの立ち上げについて  
資料に基づき、高等学校の生物教科書間での術語の統一に向けた生物科学学会連合での教科書問題検討委員会の活動報告が説明された。解剖学会として竹田扇先生（山梨大学）を委員長とする教科書問題検討ワーキンググループ（委員：坂井建雄先生（順天堂大学）、岩永敏彦先生（北海道大学）、金子武嗣先生（京都大学））を立ち上げ、教科書間で異なっている術語の洗い出し作業を進めていることが報告された。
- (7) 日本脳科学関連学会報告  
資料に基づき、ロゴマークの選定結果と「一般からの質問コーナー」に対応する解剖学会の担当者と回答者、実際に質問があった場合の対応方法が報告された。
- (8) 次期賞・研究費推薦候補者選考委員会の構成について  
資料に基づき、次期賞・研究費推薦候補者選考委員会の構成委員と、互選により中田隆夫氏（東京医歯科大）が委員長として選出されたことが報告された。
- (9) その他  
特になし

### 4. 会計報告（寺田会計担当理事）

- (1) 平成26年度中間決算書について  
平成26年度2月次会計報告書に基づき、従って順調に予算が執行されていることが説明された。
- (2) その他  
特になし

## III. 審議事項

### 1. 平成25年度決算および業務監査報告の件

定時社員総会配布資料に基づき、平成25年度正味財産増減に関して3,737,466円の増加である旨報告された。本年度より「公益法人会計基準」（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）に基づいた正味

財産の増減ベースでの計算方式が採用されたこと、法人化以前の解剖学会の財産を公益目的に切り崩すための実施事業等会計と法人化後の財産を取り扱う法人会計に区別されていることなどの公益法人化に伴う会計記載方法の変更点が説明された。業務監査につき、牛木監事と仙波監事による監査報告書と小出公認会計士による外部監査人の監査報告書の内容が報告されて、承認された。

2. 平成26年度予算および事業計画の件

資料に基づき、河田理事長より平成26年度事業計画が説明された後、寺田理事より平成26年度収支予算につき収支予算書に基づき説明があった。経常収益では、全国学術集会と支部学術集会事業収益の増加と和文誌刊行回数の減少による著者負担金収入・広告掲載収入の減少等が見込まれること、経常費用において、全国学術集会と支部学術集会事業費の増加、技能士名称変更等に伴う技能士認定業務費増加、法人化による賞状の筆耕等による奨励賞・功労賞関係費増加、値上げに伴う事務委託費増加、実情に合わせたホームページ運営費・印刷費等の増加が見込まれるのに対して、和文誌刊行回数の減少による会誌製作費・編集費の減少、理事等の交代がないための会議費の減少、電話回線解約による通信費や首都圏での学術集会・総会の開催による旅費交通費の減少等が見込まれることが説明され、承認された。

3. 平成26年度定時社員総会資料の確認

定時社員総会資料に基づき社員総会の議事内容と進行が確認された。

4. 会員名簿作成とワーキンググループ立ち上げについて

平成25年度第7回理事会で承認された冊子体での会員名簿作成に向けて、渡辺理事を委員長としてワーキンググループを立ち上げることが承認された。

5. 人体および人体標本提言の補足指針について

「ヒト由来正常組織および病理組織顕微鏡標本（ミクロ標本）の扱いについての補足指針」に関する追加提言に関する日本病理学会と日本法医学会との意見交換の内容が説明されて、本補足指針に関しては各学会で対応することとし、解剖学会はホームページで公表することで承認された。

6. 2015（平成27）年度以降のASIにおける契約について

資料に基づき、シュプリンガー・ジャパン株式会社とのASI90巻（2015）以降の発行に関する契約条件の変更点に関して説明されて、本条件でジャーナル出版契約を締結することで承認された。

7. 大矢商会廃業に伴う対応について

資料に基づき、解剖学雑誌広告集稿委託業者である大矢商会の廃業についての経緯が説明され、解剖学会への広告掲載料が未収金となる可能性は低いことが報告された。今後、別の広告代理店により解剖学雑誌の広告集稿を委託する方向で検討中であることが報告され、了承された。

8. 利益相反（COI）への対応について

資料に基づき、日本医学会COIマネジメントセミナー（平成26年2月28日開催）内容と各学会におけるCOI管理状況が説明された。解剖学会として、COI委員会の設置と運用に向けてさらに検討する方向で了承された。

9. 申請による代議員・技能士功労賞の締切日変更と書式について（企画渉外）

資料に基づき、申請による代議員・技能士功労賞の締切日を本年度より10月31日に変更し、12月の理事会において審査できるよう対応することが提案され承認された。

10. その他

第114回解剖学会学術集会での教育・若手育成委員会主催シンポジウムの非会員の講演者（1名）に対する旅費・宿泊費の補助が承認された。

11. 次回役員会の日程について

第3回理事会 平成26年12月20日（土）14:00～17:00 東京駅近郊の会議室

上記の2014年（平成26年）度 第2回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人（監事）はここに記名押印する。

2014年（平成26年） 月 日

一般社団法人 日本解剖学会

議長

署名人